



新型コロナウイルス感染症拡大に対するHCTC委員会の対応	1
認定研修制度について・2020年度認定講習Ⅱ 紹介	2
認定HCTC在籍施設紹介 防衛医科大学校病院	3
骨髄バンクコーディネートの一例	4~5
移植を支える仲間紹介・委員会からのお知らせ	6

ご挨拶

日本造血細胞移植学会HCTC委員会委員長 一戸 辰夫

冒頭にあたり、COVID-19の蔓延下において、ますますご多忙を極められている全国の移植施設ならびに関係者の皆様に心よりお見舞い申し上げます。

本年度のHCTC委員会では、「コロナ禍」の中においても、適切な造血幹細胞移植の実現を可能とするため、HCTC相談窓口に「新型コロナウイルス感染症拡大に伴う移植コーディネート相談窓口」を設置するとともに、全国の移植施設に生じている患者・ドナーコーディネート上の支障に関わる情報を迅速に収集することを目的とする緊急アンケート調査などの活動に取り組んでまいりました。

また、この危機下においてもHCTCの育成を中断することなく継続するため、認定講習や認定試験のオンライン化も実現いたしました。本パンフレットは、この忘れがたい1年における各施設のHCTCの皆様と本委員会委員の貴重な尽力の記録であり、ぜひお目通しをいただきますようお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症拡大によるHCTC委員会の対応

第42回日本造血細胞移植学会総会中止に伴う認定HCTC更新手続きの猶予措置

第42回学会総会ならびに認定更新セミナー中止によって、認定HCTC資格更新要件が不足する更新対象者に対して、1年間の更新猶予期間を認めることとしました。更新期間中に対象者より「2020年の総会中止の影響で要件が不足している」との申し出があった場合となります。なお、この猶予措置は2024学会年度まで継続されます。

移植コーディネート相談窓口設置

非常事態下においても適切な移植コーディネートを継続していくためにHCTC委員会では「HCTC相談窓口」において、相談窓口の機能を拡大し、新型コロナウイルス感染症の影響下で移植コーディネートに支障を生じている事例に関する相談を受け付けることにしました。2020年4月28日(火)より相談受付を開始しています。

HCTC認定講習Ⅰ 中止

HCTC認定講習Ⅰを2020年7月2日(木)~4日(土)に開催する予定でしたが開催を中止しました。

HCTC認定講習Ⅱ 開催

2020年11月6日(金)・7日(土)にHCTC認定講習ⅡをWeb会議システム「Zoom」を用いたオンライン方式で開催しました。

HCTC認定審査 実施

HCTC認定審査は例年9月末頃に実施を予定していますが、日程を変更し、試験は2020年12月5日(土)にオンライン形式で実施しました。

HCTC認定研修制度開始へ

認定HCTCの人材育成をより促進するため、2020年12月1日から新たにHCTC認定研修制度の運用が開始されました。HCTC委員会が指定する研修施設等で研修を修了することによりHCTCとしての実務経験数が患者・ドナー10件以上で認定HCTCの資格申請が可能となりました（小児移植認定HCTC資格の場合は患者・ドナー各5件以上）。

また、「LVC認定HCTC」の資格が新設され、関連する認定規則・認定細則が改定されました。



2020年度 HCTC認定講習Ⅱ紹介

2020年11月6日(金)・7日(土)

オンライン方式で開催

認定講習Ⅱは、HCTC認定申請の要件のひとつであり、認定講習Ⅰの受講を終え、HCTCとしての一定の活動経験と実務要件を満たす方を対象に、コーディネートスキルのレベルアップに必要な実践的な知識や技術を習得することを目的としています。今回はオンライン講習となるため、講習会が円滑に進行するように10月24日（当日都合が悪かった方は11月1日）にプレミーティングとしてオンラインでのオリエンテーションを実施しました。また、講義資料は事前配布し、グループワークなどがスムーズに行えるように事前課題も設定しました。

認定講習Ⅱは「血縁者間移植コーディネーター」の想定事例を、1日目は患者コーディネーターとして初回面談から移植決定まで、2日目はドナーコーディネーターとして血縁ドナー候補者への初回電話連絡から面談、HLA検査実施に至るまでのプロセスを講義だけでなく、ロールプレイや事例検討などのグループワークを交えての学習となりました。想定事例の講習に、例年は講師によるロールプレイが行われていましたが、今回は講師が作成したアニメーションや面談風景の資料スライドを用いての学習となりました。

グループワークでは5グループ（1グループ4～5名）に分かれてWeb上でロールプレイと事例検討を行いました。事前学習ができていたことにより積極的な意見交換がなされていました。

受講生同士の交流については、休憩時間にグループワークのメンバーとWeb上で会話ができるように設定し、また講義中においてもグループを入れ替え、多くの受講生同士の情報交換ができていました。また、2日目にはHLAについての知識やHCTC業務のより実践的な取り組みについての講義がありました。全国から24名のHCTCの方（うち5名は専任、19名は他職種との兼任）が受講されました。



認定講習Ⅱ受講の皆さま

受講生の感想

講習会アンケートから



受講生の皆さま お疲れさまでした



具体的な事例に沿って、コーディネーターの実際が学べてとても満足しています。



HCTCとして、患者様・ドナー様対応の実践的な部分の理解を更に深められたと感じました。



グループワークをすることで普段の業務で自分に足りない視点を感じることができ、他のHCTCの意見を聞けるととてもいい機会となりました。

血液内科科長 木村文彦先生

防衛医科大学校病院血液内科の造血細胞移植は1988年に米空軍の骨髄移植センターであるウィルフォードホール空軍病院（テキサス州サンアントニオ）での研修、慢性骨髄性白血病慢性期の血縁者間同種骨髄移植をBuCYで行ったことに始まります。その後数年間のブランクを経て1995年から同種骨髄移植を再開、血縁者間移植を地道に積み重ね、1999年にさい帯血バンクの認定施設に、2000年に骨髄バンクの認定施設になることができました。

骨髄バンクの移植を開始すると、院内で調整するための書類の作成やバンク・移植施設とのやりとりが増え、複数の採取と移植調整を同時に行う必要がでてきました。そのため、ファイルメーカーに採取管理システムを構築し、日付や数値などを入力すると書類が作成できるようにしましたが、調整業務は移植医自身が行う状況が長く続いていました。国立の病院故にHCTCのポストを簡単に作ったりはできないのですが、幸い輸血部助教の石関さんに興味を示して頂き、HCTC資格を取得、今日に至っています。

移植を含めた 総合的な診療を目指して

毎週金曜日午前中の血液内科カンファレンスでは全症例を見て頂くとともに移植ソースの検索やドナーの状況について意見をもらっており、造血幹細胞移植に関わる種々の調整がスムーズに進むようになってきました。当科は、移植センター病院ではありませんので、急性白血病であれば寛解導入から一貫して移植まで持って行くなど総合的な診療を行っており、その中でタイミングよく移植を行うためHCTC石関さんの活動は欠かせないものとなっています。



(左から小林医師、石関HCTC、高野医師、河村医師、血液内科科長、小林医師、齋藤医師、和泉医師、小縣医師、コロナ対策のため全員マスク姿です)



防衛医科大学校病院

HCTC 石関 香織様

HCTCの活動を始めて、5年が経とうとしております。HCTCの活動は、CD34陽性細胞数測定の立ち上げで血液内科との関りができた後に、先生からの依頼で始まりました。それまでは、培養細胞やタンパク質を相手に仕事を行っていたため、患者さんと話ができるのか？ この業務ができるのか？ 疑問と不安でいっぱいでした。さらに、テキストはほとんど無く、資料検索しても見つからない中でのスタートで不安は解消されませんでした。

自分の造血幹細胞移植についての知識も骨髄バンクの名前ぐらいは知っているという程度。先生の横で患者さんやドナーさんへの説明を聞いた時は、異次元の話を聞いている様でした。私のHCTCの活動で心掛けている事は、この時の気持ちを忘れずに、分かりやすい説明、何度でも聞いてもらえる雰囲気づくりです。

造血幹細胞移植は、患者、ドナー、医師だけでなく、家族をはじめ、様々な職種、施設がかかわる医療です。そのため、情報共有や連絡は重要で、各部署との連携は欠かせません。HCTCを始めてから病院内外の様々な方と話をするようになり、様々なシステムもわかるようになってきました。

この1年は、コロナウイルス感染症の影響でこれまでの経験では対処できないことが多くなりました。面会に来たご家族への情報提供、セミナー会場等でのHCTC同士の情報交換が困難となり、いまだ手探りの状況ですが、情報収集をしっかりと行い、各部署との連携を密にし、柔軟なコーディネートを心掛けて活動をしていきたいと思っております。

防衛医科大学校病院
木村先生、石関さま
ありがとうございました！



骨髄バンクコーディネートの一例

※架空の事例となっています。対応は施設によって異なります。
 ※実際のコーディネートにおいては骨髄バンクHPの「患者コーディネートの進め方」もあわせてご確認ください。

事例紹介

患者: Aさん、62歳、男性、A型+、体重:60kg、骨髄異形成症候群、EB-2の診断、同種移植目的で紹介受診
家族構成: 60歳の妻と二人暮らし。長女一家は同敷地内に居住
血縁ドナー候補: きょうだい 弟(55歳)はHLA不一致、子供:1人 長女(授乳中)
経済状況: 休職中、傷病手当金受給中
ドナー情報: 血縁ドナー候補者なし
 骨髄バンク: 6抗原一致38名、A,B,C,DRアレルフルマッチ25名
 さい帯血: 有核細胞数 2×10^7 以上及びCD34陽性細胞数 0.5×10^5 以上 6ユニット
 (うちCD34陽性細胞数 1.0×10^5 以上 2ユニット) で全て4抗原一致、DSAなし

骨髄バンクコーディネート①

※青字は関連業務内容、
 緑字は説明内容を示しています

スタート

★Aさんへ骨髄バンク登録手続きについて説明

- 骨髄バンクオンライン申し込み後、「患者登録に関する書類一式」を出力
- 書類に沿って説明
- 当院、全国の移植までの中央値の提示
- 適宜医師と病状と骨髄バンクコーディネート状況を確認し、よい時期に移植を行えるよう進めていくことを説明
 →書類に目を通していただき次回受診日以降に提出を依頼

- ・コーディネートについての説明書
- ・患者負担金(国内料金)
- ・患者負担金参考モデル
- ・日本骨髄バンク患者登録に関する説明書
- ・個人情報の取り扱いについて
- ・日本骨髄バンク登録に関する同意書
- ・患者負担金の請求方法について
- ・患者負担金の免除について
- ・患者負担金免除申請

患者登録に関する書類一式

※1
 ○2/1
 Day1

5-AZA
 1クール

○2/2
 Day2

★Aさんより同意書の提出あり、骨髄バンクへ同意書を郵送

○2/3
 Day3

★患者HLA確認検査の日程調整

医師にAZA後の受診日確認→2/8 SRLへ電話にて検査依頼
 →2/8可能とのことで「確認検査依頼票」をFAX送信

★主治医と相談しドナーピックアップしコーディネート開始

本日の採血結果 WBC:2300。2000以下の日もあり、SRL担当者と相談し念のためスピッツ2本で申し込み(WBC 2000以上あれば1本で可能)

○2/5
 Day5

★確認検査用スピッツ届く

→採血室へスピッツ持参し明日の確認検査採血依頼

初回により10名のコーディネート開始依頼(初回はオンラインで依頼)

○2/8
 Day8

★Aさんの患者HLA確認検査実施

★Aさんに、主治医がドナーを選びコーディネートが始まったことを説明




2/19
 Day19


★「患者HLA確認検査結果報告書」Fax受信

2/22
 Day22

★2名の「ドナー確認検査日程報告」をFax受信

ドナーID:11-1111は2/28、ドナーID:22-2222は3/8

<ドナー情報>
 HLAフルマッチ 26歳 男性
 ID:11-1111 A型+ 体重 65kg
 入院不可時期なし

 HLAフルマッチ 35歳 男性
 ID:22-2222 B型+ 体重60kg(登録時)

○3/1
 Day1

★Aさんにドナー確認検査が予定され、コーディネートに動きが出てきたことを説明

5-AZA
 2クール

★ドナーID:11-1111の「ドナー確認検査結果報告書」FAX受信、ドナー選定について主治医と相談

- ドナーID:11-1111を1位選定。
- 3/8検査済のドナーID:22-2222はそのまま続行し、確認検査で問題なければ2位選定の方向で
- ドナー選定通知書の必須チェック項目に沿って主治医と移植希望週を相談

<ドナー選定通知書の必須チェック項目>

- ✓他患者との兼ね合い:TBI、無菌室利用状況
 →5/28フル移植、6月他1件調整予定
- ✓患者(家族)の都合(行事・仕事等)
 →予定がないことを確認
- ✓スタッフ・施設の都合(運搬、血球除去、学会病院行事等)→問題なし
- ✓採取方法→骨髄採取希望

○3/15
 Day15

- ➡ 第1希望 5/31(月)の週
- ➡ 第2希望 6/7(月)の週で決定

★Aさんにドナーを選定したことを説明

骨髄バンクコーディネート②

3/22
Day22
★ドナーID:22-2222の「ドナー確認検査報告書」
(3/5 確認検査) Fax受信
→不都合時期も支障ないため2位選定へ

ドナー不都合時期：
4/5～15日通院、入院不可

3/26
Day26
★「最終同意面談日程（予定）のご報告」をFax受信
→3/29に決定

○**3/29**
Day1
★Aさんに本日最終同意面談が行われることを説明

最終同意確認後にドナー情報についてお伝え
できることを説明→Aさん希望
・移植日、ドナー情報（××地区在住、20代、
男性、A型）、ドナーとの手紙交換※2
について案内しドナーへの手紙記載を声かけ

5-AZA
3クール
★「ドナー最終同意確認報告書」のFax受信

○**4/2**
Day5
★「骨髄採取施設決定のお知らせ」Fax受信
移植日決定：第1希望週の6/4
→医事課へ採取施設や移植予定日を連絡

★Aさんに最終同意が得られたことと今後のコーディネートの流れなど説明

4/10
Day13
★主治医と採取施設側へ報告するレシピエント情報などを確認

★採取施設への骨髄採取に関する依頼文書の作成・送信

<依頼文書内容>

- ・レシピエントの最新体重→65kg
- ・骨髄処理→同型のためなし
- ・運搬 →○○課△△さん
- ・移植前の追加検査→希望なし
- ・骨髄受け渡し時間や場所に関する指示についても確認

○**4/26**
Day1
★Aさんに最終決定ではないがコーディネートが順調に進んでいることを説明

5-AZA
4クール
★「術前健診結果報告書 兼 前処置確認依頼書」Fax受信
★前処置開始予定日（5/28）を主治医に確認しバンクへ返信

5/7
Day12
★「ドナーの末梢血採血依頼書」を採取施設にFax
→主治医と確認後キメリズム検査用EDTA 7ml 1本依頼

ドナー必要情報を輸血部、検査部と共有
Wチェック
✓ A型→A型 ✓ 骨髄処理なし
✓ 移植後も輸血は同型
✓ 男性→男性

<医師とカンファレンス>

直前に骨髄採取中止の場合は、さい帯血緊急手配し、凍結申請※3、さい帯血バックアップのための申し込み※3は行わない方針へ

○**5/10**
Day15
★Aさんにこれからのスケジュールについて説明
★検体保存事業同意書に関する手続き※4
→同意書取得、採血の手配、発送など

★多職種カンファレンスで情報共有

<多職種カンファレンス参加職種>

医師、病棟看護師、歯科、薬剤師、栄養士、リハ科、心理士、MSW、検査科、輸血部技師など

5/12
Day17
★採取施設からの採取当日の骨髄液受け取りに関する情報提供を受信
★運搬担当者へ受け取りに関する情報を連絡及び「骨髄受領書」を渡す
→X病院 Y棟 12時 受付の方を訪ねる

5/21
★Aさん入院

6/3
★運搬担当 ○○課△△さんへサクスレーターを預け、採取施設へ渡していただくよう依頼



6/4
移植日
★骨髄液の到着を確認し担当医、病棟スタッフへ連絡
→15時頃病院到着 15:30ごろより移植開始予定

血液型一致であり、骨髄処理はなし

★Aさん移植終了を確認し「移植完了報告書」をバンクへFax送信

→23:15移植終了 翌日完了報告FAX送信

コーディネート
開始から123日

※2 ドナーへのお手紙：移植後2年以内、2回までの手紙交換が可能となっています

※3 骨髄バンクへの凍結申請、バックアップとしてのさい帯血の申し込みは新型コロナウイルス感染症の特別対として実施可能となっています

※4 対象となる場合のみ検体保存事業に関する書類が骨髄バンクより郵送されます



信頼関係の構築と真摯な対応を心がけて

私が骨髓バンクコーディネーターの活動を始めて5年、世の中にこんなにも沢山、見も知らない人の為に動ける、優しい人がおられるという事を実感しています。

コーディネーターとして、ドナー様と良好な信頼関係を築き、中立の立場で真摯に対応しながら、正確な情報を伝え理解して頂けるよう心掛けております。施設によって異なりますがHCTCさんとは術前健診時から関わる事が多くなります。

私にとってHCTCさんは、ドナーさまの体調変化や日程に変更が生じた場合等に、最善のアドバイスを頂ける心強いパートナーです。

またコーディネーターが同行しない自己血採血や麻酔科受診G-CSFの投与等、精神的な面も含めて、細やかにフォローして頂き、何か問題が起こった時には迅速に対応して下さい、頼りになる存在です。

現在、新型コロナウイルス対応のため、ドナー様には県外移動や外食等、様々な場面での自粛をお願いしております。

病院への往来も不安な中、「患者さんが待っておられるから」とご家族さま共々快くご協力下さいませ。

今後もHCTCさんと状況を共有し連携しながら、大切な命をスムーズに繋げることができるよう、努めて参りたいと思います。

HCTC委員会からのお知らせ

認定HCTCテキスト「チーム医療のための造血細胞移植ガイドブック」HP掲載

HCTC認定講習Ⅰ 共通テキスト「チーム医療のための造血細胞移植ガイドブック」を学会HPに掲載しています。HCTCの方のみならず造血細胞移植に関与されている全ての方々にHCTCの理念を共有していただくことを目的としています。ぜひご閲覧の上、各ご施設でご活用ください。

第43回日本造血細胞移植学会総会 HCTC委員会企画案内

◇HCTCワークショップ：2021年3月7日14時10分～ オンラインライブ開催&オンデマンド配信※
「血縁ドナーのより良い支援を考える」

◇HCTC認定更新セミナー：オンデマンド配信※
「家族ケアとグリーフケア～日々のケアに盛り込みたいこと」

※オンデマンド配信期間：3月12日～31日 詳細は学会HPをご確認ください

2021年度 認定講習・認定審査の予定

- ◇認定講習Ⅰ 日程未定 Web開催予定
- ◇認定講習Ⅱ 日程未定 Web開催予定
- ◇認定審査 認定申請7月頃 認定試験は9月頃の予定

※開催日程や詳細は決定次第、学会HPでお知らせします

HCTC相談窓口開設中

HCTC委員会では、皆さまからのお悩み、ご相談にいつでも対応する相談窓口を開設しています。お気軽にご利用ください。

📞 相談窓口：hctc-sodan-jshct@umin.ac.jp

